

Digital Color Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-D23MD

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

20ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

はじめに

本機の特長	11
主な使用例	11
各部の名称と働き	11
フロントパネル	11
裏面	12
付属品を確認する	12
組み立てる	13
接続する	13
USB ポートにつなぐ	13
パソコンにプリンタードライバーを インストールする	14

操作

プリントする前に	15
インクリボンを取り付ける	15
プリント紙を入れる	17
プリントする	18

その他

本機の性能を保持するために	20
使用上のご注意	20
お手入れ	20
使えるインクリボンとプリント紙について	21
主な仕様	22
アフターサービス	23
故障とお考えになる前に	23
フロントパネルのランプについて	24
つまった紙を取り除く	25
索引	27



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
指定の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
指定の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

指定された電源コードを使用する

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

本体内部に手を入れない

ドアが開いている時に本体内部に手を入れると、やけどやけがの原因となることがあります。



注意

フロントパネルを開けたままにしておかない

フロントパネルを開けたままにしておくとおぶつかけたり、落下してけがの原因となることがあります。



注意

本体を支えて給紙トレーを着脱する

給紙トレーを着脱するときに、本体が動き落下してけがの原因となることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。
(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class A、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- UP-D23MD は、EMC に関して特に注意する必要があります。取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
- UP-D23MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-D23MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション

UP-D23MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。

UP-D23MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-D23MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。 UP-D23MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-D23MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D23MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D23MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも30%以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-D23MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-D23MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考： U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D23MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D23MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	<p>携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-D23MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$ $d = 1.2 \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.5 \text{ GHz}$ <p>P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格 (単位はワット (W)) で、d は推奨距離 (単位はメートル (m)) です。</p> <p>電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度^aは、各周波数範囲^bにおいて適合レベル未満である必要があります。</p> <p>下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。</p> 
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線 (携帯 / コードレス) 電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-D23MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-D23MD が、正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-D23MD の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-D23MD との間の推奨分離距離

UP-D23MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-D23MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-D23MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

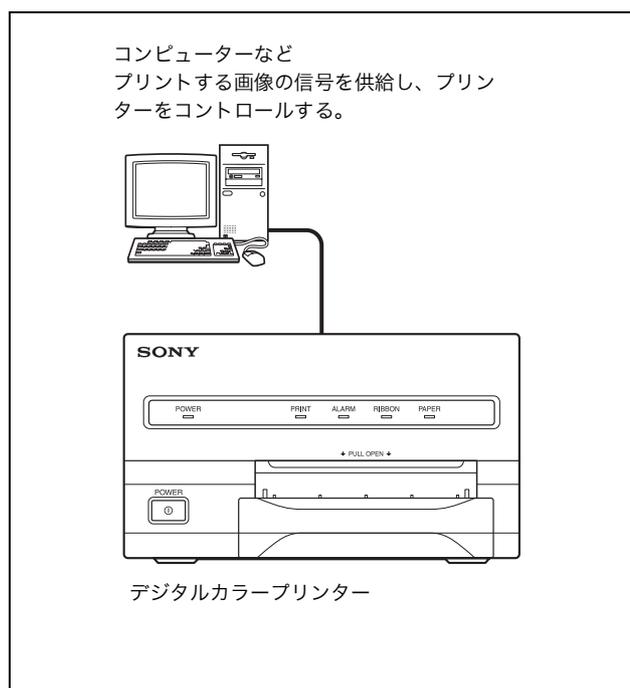
本製品またはアクセサリを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

本機の特長

デジタルカラープリンター UP-D23MD は、コンピューターなどの画像データを A6 版のプリント紙に、フルカラー（各色 256 階調、1670 万色）、高解像度（約 403dpi 精密ヘッド使用）、高速でプリントする昇華型デジタルカラープリンターです。

主な使用例

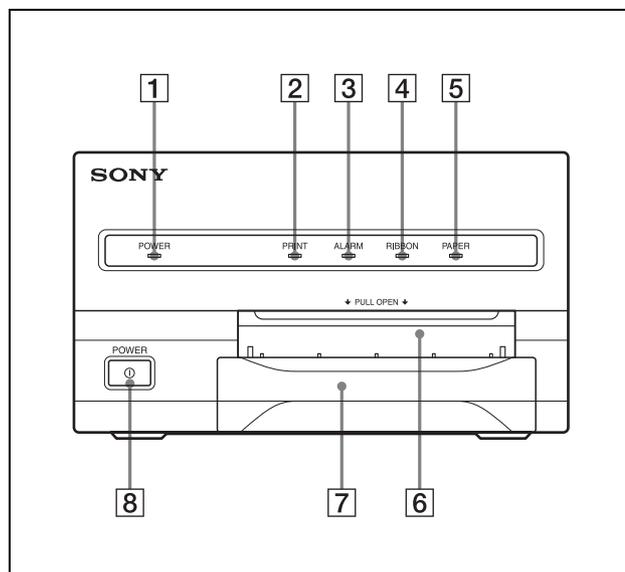
プリンターの主な使用例を下図に示します。



各部の名称と働き

() 内の数字は、参照ページを示します。

フロントパネル

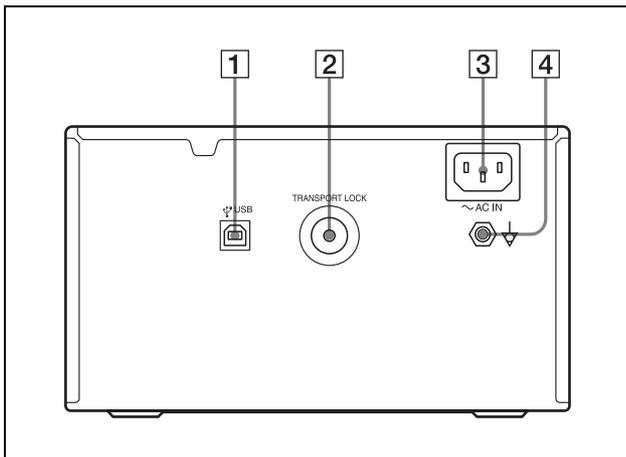


- 1 **POWER ランプ**
電源を入れると点灯します。
- 2 **PRINT ランプ (24)**
プリント中点灯します。
- 3 **ALARM ランプ (24)**
紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。
- 4 **RIBBON ランプ (24)**
インクリボンに係わるエラーが起きたとき点灯します。
- 5 **PAPER ランプ (24)**
プリント紙に係わるエラーが起きたときに点灯します。

PRINT ランプ、ALARM ランプ、PAPER ランプ、RIBBON ランプの点灯または点滅状態でエラーの発生箇所、原因がわかります。詳しくは、「フロントパネルのランプについて」(24 ページ)をご覧ください。

- 6** 排紙口
プリント画が排出されます。
- 7** 給紙トレイ (13)
プリント用紙を入れておくトレイです。
- 8** ① POWER スイッチ (18)
本機の電源を ON/OFF (入/切) します。

裏面



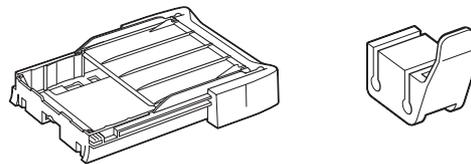
- 1** ♪ (USB) 端子 (13)
パソコンやその他の周辺機器を接続します。接続には、付属の USB ケーブルをお使いください。
- 2** TRANSPORT LOCK (輸送モード) ボタン (20)
感熱ヘッドを固定するときに押します。プリンター輸送時は、このボタンを押して感熱ヘッドを固定してください。
- 3** ~ AC IN (電源入力) 端子
指定の電源コードをつなぎます。
- 4** ♪ 等電位端子
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

付属品を確認する

付属品を確認してください。

給紙トレイ (1)

ストッパー (1)



CD-ROM (プリンタードライバー / 取扱説明書ディスク) (1)
USB ケーブル 1-824-211-41 (Sony) (1)
感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1)
ご使用になる前に (1)
ソフトウェア使用契約書 (1)
業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

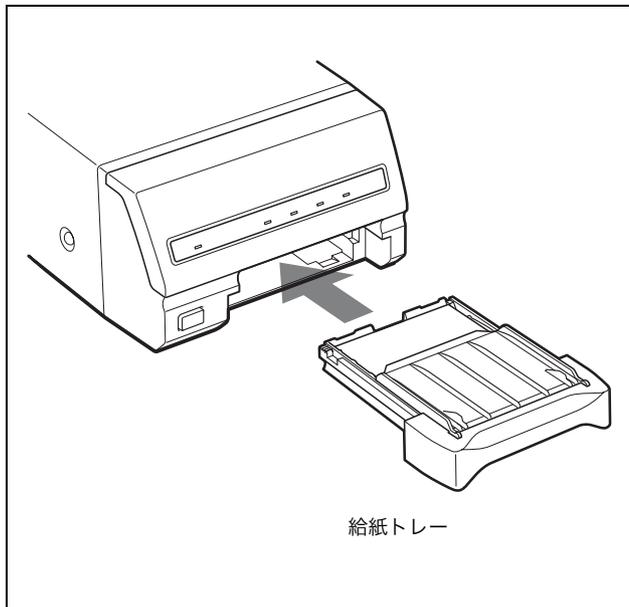
ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンと給紙トレイを取り外してください。
- 輸送の際は、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。詳しくは「輸送するときは」(20 ページ)をご覧ください。

組み立てる

給紙トレイを取り付けるには

インクリボン、プリント紙の取り付けについて詳しくは、「インクリボンを取り付ける」(15 ページ) および「プリント紙を入れる」(17 ページ) をご覧ください。



接続する

付属の USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続してから、電源コードを接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

⚠ 注意

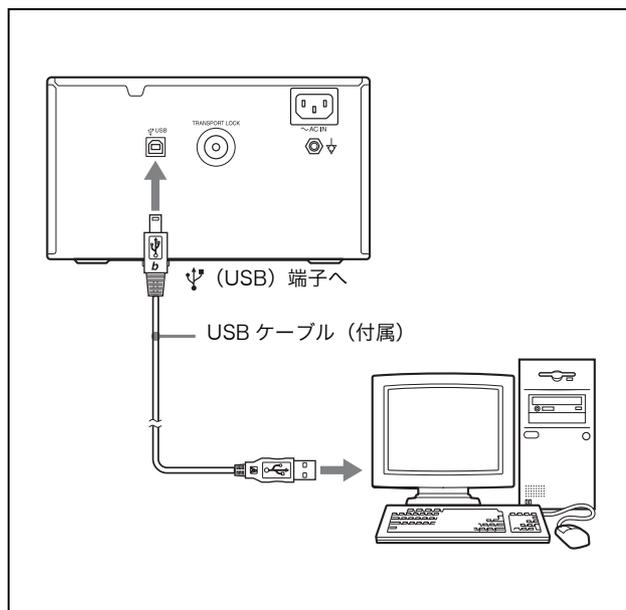
- ・パソコンに接続するときは、本機およびパソコン、モニターなどパソコンに接続している周辺機器の電源を必ず切ってください。
- ・パソコンに接続するときは、本機の電源コードを外し、パソコンに接続してから電源コードを接続してください。
- ・パソコンの説明書も併せてご覧ください。
- ・ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。
- ・ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。

3 極 → 2 極変換プラグを使うときのご注意

AC 電源コンセントが 2 芯の場合は、指定の 3 極 → 2 極変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず接続してください。

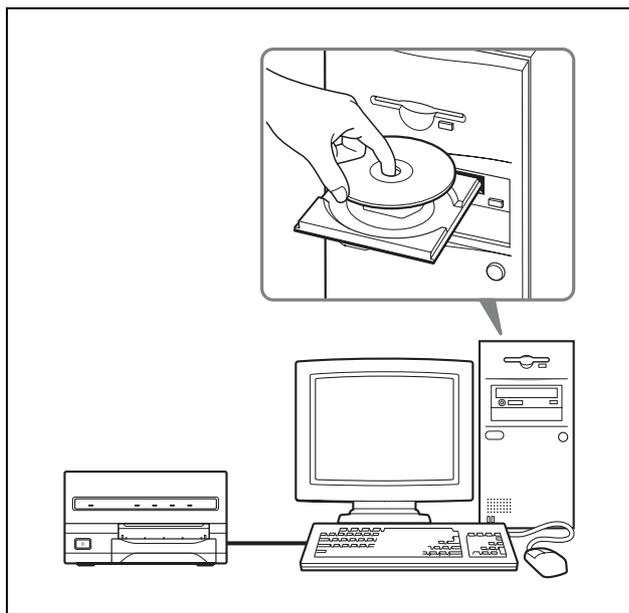
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

USB ポートにつなぐ



パソコンにプリンタードライバをインストールする

付属のプリンタードライバをインストールします。インストールのしかたについては、プリンタードライバディスク中の「ReadMe (Japanese)」をお読みください。



USB(Universal Serial Bus) Specification Revision 2.0 について

- ・ UP-D23MD は、USB 2.0 に対応しています。
- ・ USB 2.0 は、USB 1.1 の完全上位互換の規格です。
- ・ USB2.0 では、従来の Full (Low) Speed に加え、Hi-Speed がサポートされています。
- ・ USB 1.1 環境では、Full Speed として接続できますが、Hi-Speed USB としてご使用の場合は、以下の環境が必要です。
 - － コンピューター
Hi-Speed USB 対応 (USB 2.0 規格に準拠) のコンピューター a)
 - － OS
Windows2000/WindowsXP b)
 - － USB 2.0 ドライバー
マイクロソフト社製 USB 2.0 ドライバー (マイクロソフト社製以外の USB 2.0 ドライバーでの動作は保証しておりません。)
 - － USB 2.0 認証ケーブル
同梱されている 2m のケーブルを使用してください。

- a) すべての USB 2.0 対応機器、および USB 2.0 拡張ボード / 拡張カードの動作を保証するものではありません。
- b) Windows98/WindowsMe をご使用の場合は Full Speed までの対応となります。

ご注意

UP-D23MD が電源の入っている状態で接続されているときは、お使いのコンピューターをスタンバイ (サスペンド) 状態や休止状態にしないでください。正しく動作しなくなる場合があります。

プリントする前に

初めてプリンターをお使いになる場合は、付属品を確認し、組み立ててからお使いください。詳しくは「組み立てる」(13 ページ)をご覧ください。

ここでは、プリンターの接続が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリントに必要な次の操作について説明します。

- ・ インクリボンを取り付ける (下記)
- ・ プリント紙を入れる (17 ページ)

これらの操作は、日常のプリント操作前に毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・ 電源のオン/オフに関わらずインクリボンを交換したりプリント紙を取り付けることができます。なお、交換や取り付け時に電源を切ると、記憶した画像が消えてしまいますご注意ください。
- ・ インクリボンとプリント紙はプリントパックとしてセットになっています。取り付けの前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください(「使えるインクリボンとプリント紙について」(21 ページ))。
- ・ インクリボンとプリント紙は、どちらかが残っていても新しいインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。
- ・ 必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。(「使えるインクリボンとプリント紙について」(21 ページ)) 専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

インクリボンを取り付ける

インクリボンをインクリボン収納部に取り付けます。

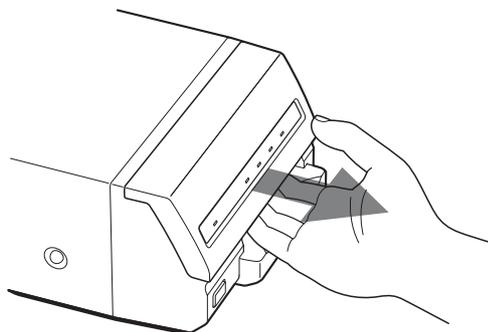
ご注意

- ・ プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドの位置がずれている場合があります。フロントパネルを閉じた状態で電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンを取り付けてください。
- ・ 輸送の際は、インクリボンはずしてください。また、内部の感熱ヘッドも固定してください。(20 ページ)
- ・ 印刷されずにプリント紙が排出され、RIBBON ランプが点灯した場合は、インクリボンが無くなりましたの

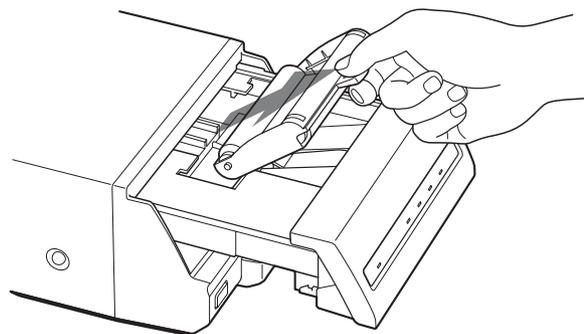
でリボンの交換をしてください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。

- ・ 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・ インクリボン巻き戻しして使用しないでください。
- ・ インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・ 付属のインクリボンとプリント紙は、動作確認用としてお使いください。

- 1 フロントパネルを手前に引いて開けます。



- 2 使用済みインクリボンを取り出します。初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。

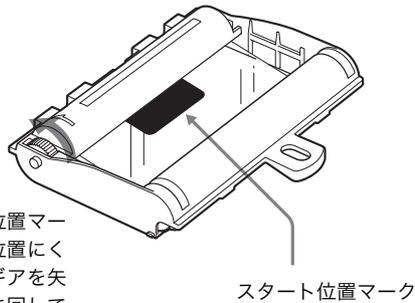


3 インクリボンのたるみを取ります。

ご注意

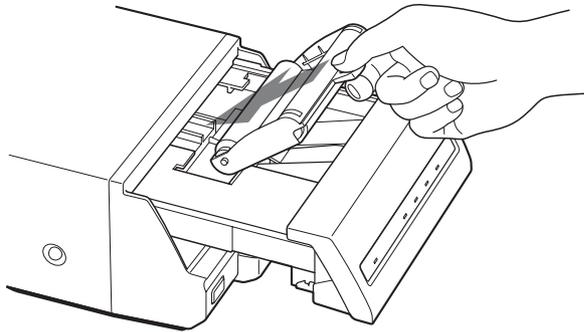
たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。

スタート位置マークが図の位置にくるようにギアを矢印の方向に回してたるみをとる。

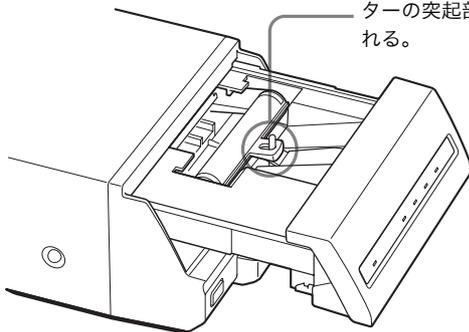


スタート位置マーク

4 インクリボンを入れる。



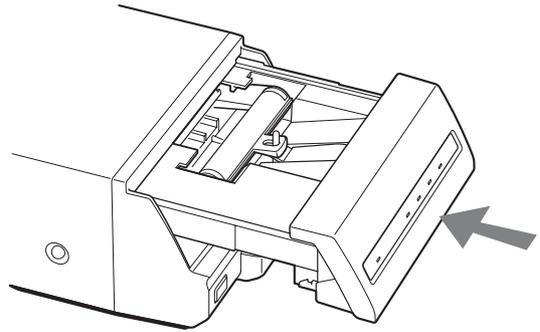
取っ手の穴をプリンターの突起部に入れる。



5 「PULL OPEN」部を押してフロントパネルを閉じます。

⚠ 注意

- ・フロントパネルを開けたままにしておくとぶつけたり、プリンターが落下する可能性がありますのでご注意ください。
- ・フロントパネルは、きちんと確実に閉めてください。フロントパネルがきちんと閉じていないと、プリント中や感熱ヘッドのクリーニング中に紙詰まりや故障の原因となることがあります。



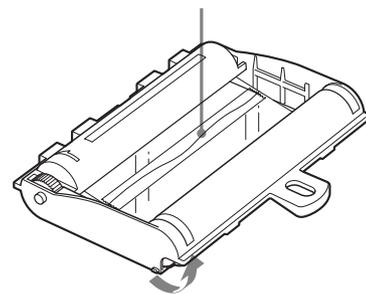
インクリボンを保存するときは

- ・温度や湿度の高いところでの保存は避けてください。
- ・使用途中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋に入れて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

セロハンテープ



セロハンテープが見えなくなるまで巻取り側のギアを矢印の方向に回してインクリボンを巻取る。このとき、インクリボンがたるまないようご注意ください。

プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手を触れないように注意してください。

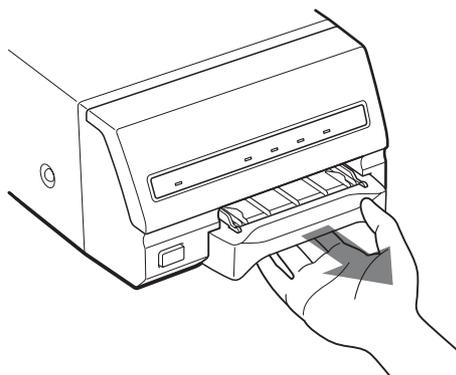
ご注意

- ・プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙づまりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは、「使えるインクリボンとプリント紙について」（21 ページ）をご覧ください。
- ・印刷されずにプリント紙が排出され、RIBBON ランプが点灯した場合は、インクリボンがなくなりましたのでリボンの交換をし、プリント紙を補給してください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。

⚠ 注意

給紙トレーを着脱するときにプリンターが動いて落下する可能性がありますのでご注意ください。

1 給紙トレーを取り出します。



2 プリント面を上にして保護紙と一緒にプリント紙を給紙トレーに入れます。

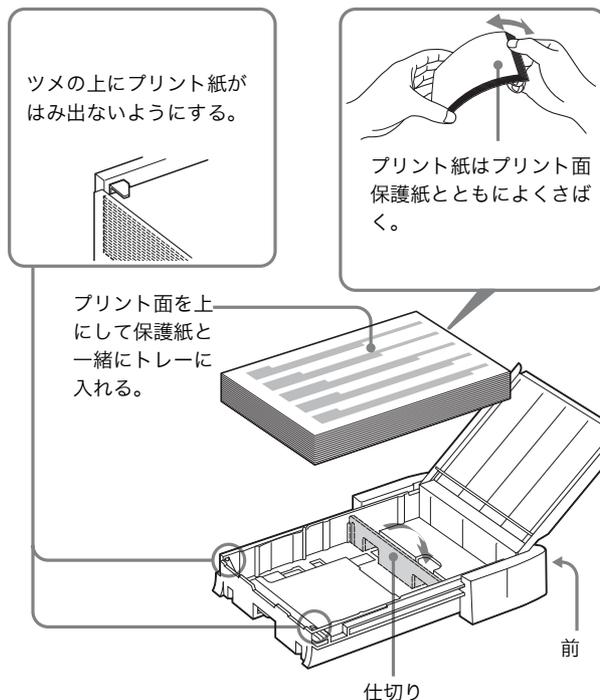
プリントパック UPC-21L をお使いの場合：給紙トレーの仕切りを倒してお使いください。
 プリントパック UPC-21S をお使いの場合：給紙トレーの仕切りを立ててお使いください。

ご注意

- ・プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなりましたら、プリント紙を補給してリボンを交換してください。なお、途中でプリント紙を補給した場合、紙づまりの原因になります。
- ・プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着しますとプリント面に汚れを生ずることがあります。取り扱

うときは、プリント面保護紙を付け、プリント面が汚れないようにします。

- ・トレーに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレーから紙がはみ出し、給紙できないことがあります。必ず、プリント面保護紙（白色で注意文が印刷されています）ごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
- ・ひとつの給紙トレーにタイプの異なるプリント紙を混在させないでください。



3 保護紙を取り除きます。

4 給紙トレーをカチッと音がするまで差し込みます。

ご注意

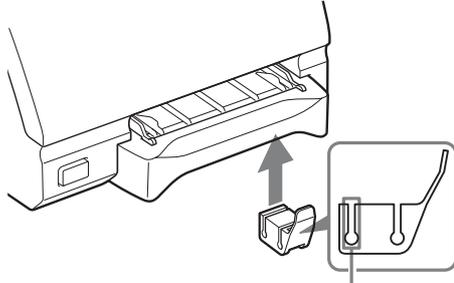
給紙トレーが奥まで差し込めない場合、給紙トレー口にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。

プリント紙を保存するときは

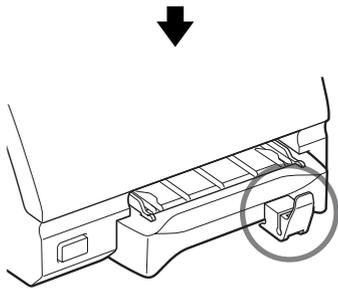
- ・湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・使用中で本体から取り外して長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

ストッパー取り付け

プリント画を複数枚排出しているとき、たまったプリント画が飛び出てしまうことがあります。飛び出てしまうのを防ぐため、付属のストッパーを下図のように取り付けてください。



この溝を下図のようにトレイの端に差し込む。



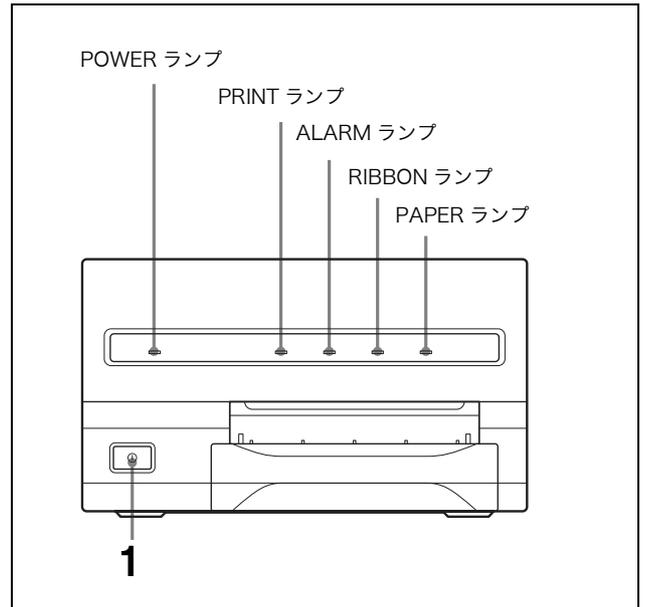
ご注意

排紙されたプリント紙を 10 枚以上ためないでください。紙づまりの原因になります。

プリントする

プリントする前に

- ・プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(18 ページ)
- ・プリント紙、インクリボンが正しく取り付けられていますか。(15、17 ページ)
- ・プリンタードライバーはインストールされていますか。(14 ページ)



- 1 プリンターの電源スイッチを入れます。POWER ランプが点灯します。PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプ、PAPER ランプが同時に点灯してから消灯します。

ご注意

- ・プリンターの電源を最初に入れます。
- ・パソコンがハードディスクやフロッピーディスクにアクセス中に、電源を入れたり切ったりしないでください。

- 2 コンピューターの電源を入れます。
- 3 コンピューターからプリント操作を行います。コンピューターから画像データを受信中は、PRINT ランプが点滅します。プリント中は、PRINT ランプが点灯します。

ご注意

- ・プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出したりしないでください。

- ・ プリントの途中で電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 連続プリントの設定ができるようになっていますが、プリント排紙口に複数枚プリント画がたまるとプリントの途中で止まってしまう場合があります、ALARM ランプが点灯します。そのような場合は、排紙口にたまったプリント画を取り除いてください。自動的にプリント動作が再開され、残りの枚数がプリントされます。

プリントできないとき

ALARM ランプ、PAPER ランプ、RIBBON ランプが点灯しているときは操作できません。

詳しくは、「フロントパネルのランプについて」（24 ページ）をご覧ください。

プリント中にプリント紙またはインクリボンがなくなったとき

プリンターはプリント動作を終了します。新しいプリント紙およびインクリボンをセットすると自動的にプリント動作が再開され、残りの枚数がプリントされます。

プリント画を保存するときは

- ・ 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- ・ プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑剤を含むものに触れさせないでください。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「 警告」(4 ページ)、「 注意」(5 ページ) と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品を外し、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

- 1 インクリボンと給紙トレイを取り外します。
- 2 内部の感熱ヘッドを固定します。
 - ① プリンターの電源スイッチを入れます。
 - ② TRANSPORT LOCK ボタンを押します。
PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプ、PAPER ランプが点滅し、プリンターの動作音が約 2 秒続きます。
 - ③ プリンターの動作音が止まったら、電源スイッチを切ります。
感熱ヘッドが固定されます。

感熱ヘッドの固定を外すには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンを取り付けることができるようになります。

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 極端に暑いところや寒いところ
- ・ 振動の多いところ
- ・ ほこりの多いところ
- ・ 不安定なところ

- ・ 本体の上面および左側面にある通風孔をふさがないでください。火災や故障の原因となる場合があります。
- ・ 危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットのクリーニング

- ・ キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと、乾いた布でからぶきしてください。
- ・ シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

感熱ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じるなどの印画不良が生じた場合に、付属のクリーニングカートリッジでクリーニングしてください。

プリント画の品質を維持するために、プリント紙 10 パック程度を目安に定期的にクリーニングなさることをおすすめいたします。

- 1 プリンター本体から給紙トレイを取り出し、プリント紙を取り除きます。
- 2 クリーニングシートの光沢面を下にして、給紙トレイに入れます。

ご注意

カラープリントパック UPC-21S/21L に付属のクリーニングシートをお使いください。使用したクリーニングシートは再使用しないでください。

- 3** クリーニングカートリッジをプリンターに取り付けます。
取り付けかたはインクリボンと同じです。詳しくは、「インクリボンを取り付ける」(15 ページ)をご覧ください。
クリーニングカートリッジと給紙トレイを取り付けると、RIBBON ランプが消灯し、自動的にクリーニングが始まります。
クリーニングが終了すると、RIBBON ランプが点灯します。

ご注意

プリンターの電源が入っている状態でクリーニングカートリッジを取り付けた場合にクリーニングが開始されます。
プリンターの電源が入っていない場合は、クリーニングカートリッジを取り付けた後プリンターの電源を入れてもクリーニング動作には入りません。

使えるインクリボンとプリント紙について

インクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

カラープリントパック UPC-21S

240 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80 枚分のプリント用インクリボン × 3 巻

80 枚分のプリント紙 (90 × 100 mm) × 3 袋

カラープリントパック UPC-21L

200 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50 枚分のプリント用インクリボン × 4 巻

50 枚分のプリント紙 (100 × 144 mm) × 4 袋

ご注意

プリント紙がなくなりましたら、プリント紙補給と同時にインクリボンも交換してください。

主な仕様

電源	AC 100-120/220-240 V 50/60 Hz
入力電流	1.8/1.0 A
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20% ~ 80%
動作気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
保管／輸送時温度	- 20 °C ~ 60 °C
保管／輸送時湿度	20% ~ 80%
保管／輸送時気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
最大外形寸法	約 212 × 125 × 395 mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約 6.5 kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
プリント画素数	UPC-21S 使用時、フル画面プリント： 1520 × 1144 ドット UPC-21L 使用時、フル画面プリント： 2000 × 1520 ドット
プリント階調	256 階調処理 (イエロー、マゼンダ、 シアン)
プリント時間	UPC-21S 使用時 約 19 秒 (高速で印画) UPC-21L 使用時 約 29 秒 (高速で印画)
☎ (USB) 端子	USB (Universal Serial Bus) Specification Revision 2.0
入力端子	AC IN (電源入力用)
サーマルヘッド 付属品	15.87 ドット /mm 給紙トレイ (1) USB ケーブル 1-824-211-41 (Sony) (1) 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1) ストッパー (1) CD-ROM (プリンタードライバー／取 扱説明書ディスク) (1) ご使用になる前に (1) ソフトウェア使用契約書 (1) 業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリ	カラープリントパック UPC-21S 240 枚分 (80 枚 × 3) カラープリントパック UPC-21L 200 枚分 (50 枚 × 4) AC 電源コード 部品番号：1-791-041-xx 3 極 → 2 極変換プラグ 部品番号：1-793-461-xx

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V C C I) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：

空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻酔薬混合物があるときは使用に
適していません。

作動モード：

連続

アフターサービス

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご連絡ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因・処置
コンピューターから画像を転送してもプリントしない。	<ul style="list-style-type: none">・ POWER スイッチが OFF になっていません。 → POWER スイッチを ON にします。・ 接続が正しくされていません。 → 接続を確認します。(13 ページ)
プリントできない。	フロントパネルのランプにエラーの状態が表示されています。 → 「フロントパネルのランプについて」(24 ページ) をご覧になって、適切な対処を行ってください。
プリント画の色が薄い。	プリント紙の入れかたが間違っています。 → プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(17 ページ)
インクリボンが入らない。	<ul style="list-style-type: none">・ 本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 → 本機専用のインクリボンを取り付けてください。「使えるインクリボンとプリント紙について」(21 ページ)・ 感熱ヘッドが固定されています。 → プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。
印刷されないで紙が排出される。	リボンがなくなりました。リボンを確認してください。 → リボンを交換してください。「インクリボンを取り付ける」(15 ページ) 排出された紙は使用しないでください。

フロントパネルのランプについて

エラーが起きると PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプおよび PAPER ランプが点灯または点滅します。点灯・点滅の状態エラーの発生箇所、原因がわかります。

各ランプの点灯・点滅状態は以下のとおりです。

ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
PRINT		プリント中
	PRINT	画像データを受信中
	PRINT (この場合 PRINT ランプは遅い点滅を繰り返します。)	感熱ヘッドがプリント可能な温度になるよう待機中
RIBBON		<ul style="list-style-type: none"> インクリボンが終わりにになりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください。(15 ページ) (インクリボンは再使用できません。) 何もプリントされずに白いプリント紙が排出された場合は、そのプリント紙はご使用にならないでください。 インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(16 ページ)
PAPER		<ul style="list-style-type: none"> プリント紙がありません。 →プリント紙を入れてください。(17 ページ) 給紙トレーが取り付けられていません。 →給紙トレーを取り付けてください。(13 ページ)
ALARM、PAPER		<p>間違った組み合わせのインクリボンとプリント紙が取り付けられています。 →正しい組み合わせでご使用ください。(21 ページ)</p>
ALARM、RIBBON		<p>プリント中に、インクリボンまたはプリント紙がなくなり、新しく交換したとき、異なった種類のカラープリントパックがセットされました。 →使用していたものと同じ種類のカラープリントパックをセットしてください。</p>

ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
ALARM		<ul style="list-style-type: none"> フロントパネルが開いていません。 →フロントパネルを確実に閉めてください。 プリンター内部で紙づまりが起きました。 →つまった紙を取り除いてください。(25 ページ) 給紙トレーの上にプリント画がたまりました。 →たまったプリント紙を取り除いてください。

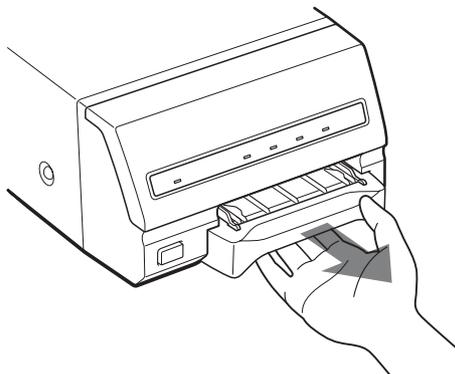
つまった紙を取り除く

PRINT ボタンを押してプリントが始まってから、フロントパネルの ALARM ランプが点灯したり、コンピューターのモニター画面に「紙詰まりが発生しました。印刷を中止します。紙を取り除き、もう一度印刷してください。」または「モーターまたはセンサートラブルです。印刷を中止します。プリンターの電源を入れ直して、もう一度印刷してください。」というメッセージが出た場合は、プリンター内部で紙づまりが起きている可能性があります。次のようにしてつまった紙を取り除いてください。

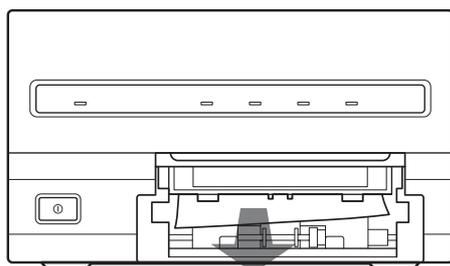
ご注意

プリンターの電源を切ると、メモリーに記憶させて画像は消えます。作業後に再度記憶させてお使いください。

1 給紙トレイを取り出します。



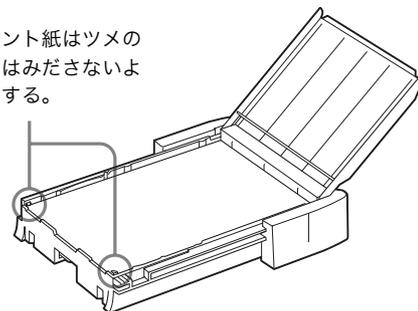
2 途中でつまっている紙を取り出します。



取り出せないとき「それでも取り出せないときは」(25 ページ) の手順にしたがって取り出してください。

3 プリント紙を正しくセットします。

プリント紙はツメの上にはみださないようにする。



ご注意

- ・ 手順 2 で戻したプリント紙はご使用にならないでください。
- ・ 本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

4 給紙トレイを差し込みます。

それでも取り出せないときは

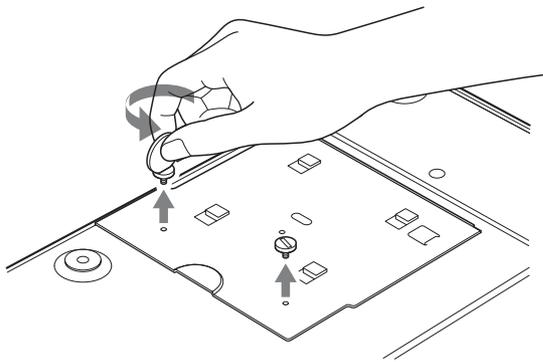
それでも、取り除けない場合は、次の説明にしたがって、つまったプリント紙を取り除いてください。

⚠ 注意

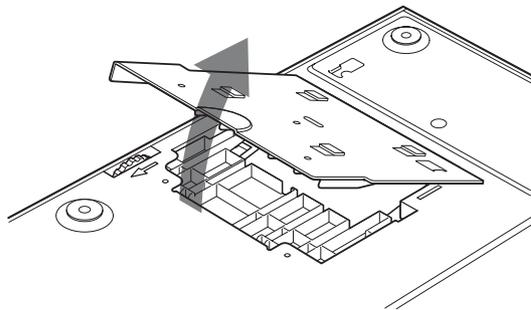
- ・ この場合は、POWER スイッチを押して電源を切るだけではなく、コンセントから電源プラグを抜いてください。ただし、電源を切ると、メモリーに記憶させて画像は消えます。作業後に再度記憶させてお使いください。
- ・ プリンター本体を裏返す際は、接続コード類をはずしてください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。
- ・ プリンター内部につまっているプリント紙を取り除くため、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようご注意ください。

- 1 プリンターの電源を切り、電源コードを抜き、他の接続コードも抜く。
- 2 給紙トレイをプリンターから取り出す。
- 3 プリンターを裏返す。

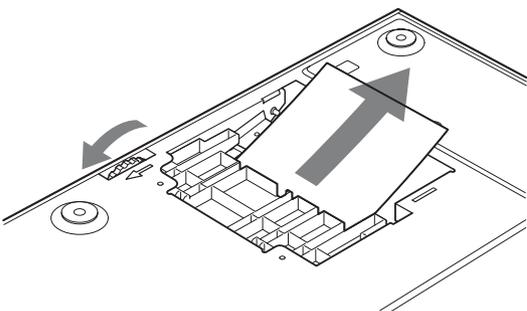
- 4** 硬貨を使って、底板を止めているビス2本を取りはずす。



- 5** 底板を持ち上げ、プリンターからはずす。



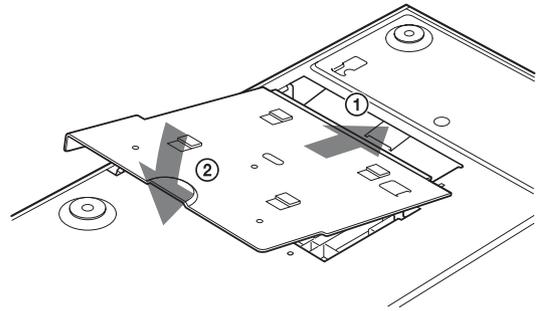
- 6** ギアを矢印の方向にゆっくり回しながら、つまった紙をゆっくりと取り出す。



どうしてもとれない場合は

無理に取り出そうとせず、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

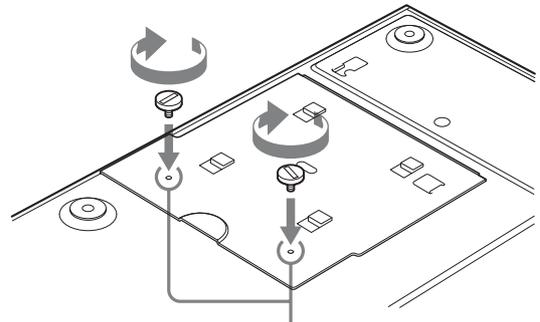
- 7** 底板を元に戻す。



ご注意

戻す際に、物を挟み込まないようにご注意ください。

- 8** 底板を手順4で取りはずしたビスで止める。



底板のビス穴とプリンター裏面のビス穴とが一致していることを確認してから止める。

再びご使用になるときは

ご使用になる前に、以下の項目を確認してください。

- ・プリンター裏面のコード類の接続がきちんとされている。
- ・取り出した給紙トレイを元に戻す。
- ・電源が切れますので、メモリーに記憶させた画像は消去されます。再度画像を記憶させてプリントする。

索引

あ

安全のために..... 2

い

インクリボン

取り扱い上の注意..... 15

取り付ける..... 15

保存上の注意..... 16

途中で切れてしまったとき..... 16

インクリボンとプリント紙..... 21

お

お手入れ

キャビネットの

クリーニング..... 20

感熱ヘッドのクリーニング..... 20

主な仕様..... 22

か

各部の名称と働き

フロントパネル..... 11

感熱ヘッド

クリーニング..... 20

固定..... 20

固定を外す..... 20

く

組み立て..... 13

クリーニング

感熱ヘッド..... 20

キャビネット..... 20

こ

故障とお考えになる前に..... 23

この取扱説明書について..... 11

し

使用上のご注意

結露..... 20

設置時..... 20

注意..... 5

輸送時..... 20

警告..... 4

使用例..... 11

す

ストッパー..... 18

せ

接続..... 13

設置するときのご注意..... 20

そ

操作..... 15

と

特長..... 11

は

はじめに..... 11

ふ

付属品..... 15

確認する..... 12

組み立てる..... 13

プリンタードライバー..... 14

プリント紙

入れかた..... 17

つまった紙を取り除く..... 25

保存上の注意..... 17

U

USB

USBポート..... 13

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>